

小学校教育

接続期

幼児教育

教科等の特質に応じた「見方や考え方」や資質・能力を
育むとともに、
教科横断的にそれらを総合・統合していく学び

生活科を中心としたスタート・カリキュラムの中で、
合科的・関連的な指導も含め、子供の生活の流れの中で、幼児期の終わりまでに育った
姿が発揮できるような工夫を行いながら、短時間学習なども含めた工夫を行うことにより、
幼児期に総合的に育まれた「見方や考え方」や資質・能力を、
徐々に各教科等の特質に応じた学びにつなげていく時期

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手がかりとしながら、
幼児の得意なところや苦手なところを見極め、それらに応じた関わりをしたり、
より自立的・協同的な活動を促したりするなど、意図的・計画的な環境の構成
に基づいた総合的な指導の中でバランスよく「見方や考え方」や資質・能力を育む時期

遊びや生活の中で、幼児期の特性に応じた
「見方や考え方」や資質・能力を育む学び

スタートカリキュラムのイメージ(案)

「見方や考え方」や資質・能力をさらに成長させる
 中学年以降の学びへ

国語 言葉で表現したり、理解したりすることを通して、ものの見方や考え方を広げたり、深めたりすること、また、表現したり理解したりするときの言葉の働きや仕組みを捉えること。	算数 事象を数理的に捉え、論理的に考え、統合的、発展的に考察すること	生活 身近な自然事象や社会的事象を、規則性や関係性といった視点で捉え、それらと比較、分類、関連付け、工夫、試行、予測することなどを通して、自分自身との関係にも気付きながら考察すること。	音楽 音楽に対する感性を働かせて、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で音楽を捉え、音楽的な特徴と、イメージや感情、生活や社会、文化等との関わりについて音楽活動を通して考えること。	図工 感性や想像力等を働かせながら、形や色などの造形的な特徴を捉えるとともに自分のイメージをもつなどして、自分や他者との関わりや、生活、社会等との関係の中で、見たり創造的に考えたりすること。	体育 運動やスポーツについて、その意義や特性に着目しつつ楽しさや喜びを見出し、公正、協力、責任、参画、健康・安全といった視点を踏まえながら「する・みる・支える」等の豊かな関わり方について考察すること	道徳 様々な事象を道徳的諸価値との関わりで多面的・多角的に捉え、よりよい自己の生き方や在り方について考察すること	特活 集団や社会の形成者という視点から様々な諸問題を捉え、各教科等で培った見方や考え方を効果的に活用して、よりよい学級・学校生活や社会及び自己の実現に向けて考察し、実践すること。
--	--	--	--	---	---	--	---

※各教科等における「見方や考え方」は各WGにおいて検討中。

「スタート・カリキュラム」を通じて、各教科等の特質に応じた学びにつなぐ

健康な心と体
自立心
協同性
道徳性の芽生え
規範意識の芽生え
いろいろな人との関わり
自然とのかかわり
生命尊重、公共心等
数量・図形、文字等への関心・感覚
言葉による伝え合い
豊かな感性と表現
思考力の芽生え

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目の濃淡は、小学校教育との関連が分かるように示したものであり、幼児教育において小学校教育を前倒して行うことを意図したものではない。
 なお、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目については、現在、幼児教育部会において検討中。